

桜の庄兵衛

information vol.28

唐梅のかほりただよふコンサート

1月10日(月・祝) 昼の部 13:00開演(12:30開場) 夕の部 16:30開演(16:00開場)

長細く切った木に張られた十三本の絃とそれを支える同じ数の柱(じ)。それが箏-はるか昔に大陸から伝えられ、いつの間にか日本独自の今の姿になり、長く私たちの歴史と共に奏でられてきた楽器です。

初春の桜の庄兵衛に、大阪が生んだ新進気鋭の箏奏者片岡リサさんをお迎えいたします。

大阪からお箏の魅力を発信し続ける片岡リサさんが奏でるお箏の「古典から現代まで」。

「こいつあ春から縁起がいいわえ」とばかりに心ゆくまでお楽しみくださいませ。

出演

片岡 リサ/箏
川上 佐和子/オーボエ

プログラム

六段の調 (箏独奏)
春の海 (箏・オーボエ)
荒城の月 (胡弓・オーボエ)
アメージング グレイス (箏・歌)
他



プロフィール

片岡 リサ

1978年生まれ。大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。幼少より箏・三絃を始め、数々のコンクールの児童の部・一般の部において第1位を受賞。平成11年度 大阪文化祭奨励賞、平成13年度 文化庁芸術祭 新人賞を史上最年少で受賞、平成14年度大阪舞台芸術奨励賞など様々な賞を受賞。「京都・国際音楽学生フェスティバル2000」に日本代表として選抜出演、また、平成13年度 文化庁芸術インターンシップ研修員として研鑽を積む。東京フィル・大阪フィルをはじめ、多くのオーケストラとの共演やオペラ出演、NHKテレビ・民放・ラジオに出演するなど精力的な活動を行い、邦楽を担う新しいタイプの演奏家として評価されている。現在、大阪音楽大学・同志社女子大学講師。宮城社師範。

川上 佐和子

2000年 大阪音楽大学器楽学科(オーボエ)卒業
第5回 高槻音楽コンクール入賞
2000年4月から2003年3月迄、大阪音楽大学教員助手を務める。
現在、大阪音楽大学演奏員を務めるほか、関西を中心にオーケストラや室内楽の分野で活動中。
呉山平煥、林哲也、古部賢一の各氏に師事。



11月7日、それは私の音楽観が変わった日です。「天竺の風に吹かれてコンサート」、シターを聴かせて頂いたときから変わりました。今から思えば、これまで私の音楽観といえば、西洋音楽一辺倒で、西洋音楽がなんでも一番であろうと思込でございました。しかし、このコンサートを聞いて私の考えが根底からひっくり返りました。こんなに音楽性豊かで、完成された音楽が、同じ東洋にそれも数百年程前から存在していたのだと、自分の無知さに嘖然としました。

シターは主に旋律は4本の弦で、伴奏は3本、計7本で演奏され、ただ単にフレットを押さえるだけでなく、激しくチョーキング(こんな表現を使っているのか疑問ですが、フレット上で弦を下に引く度合いにより音程を細かく変える奏法。5度の音程が変化できるそうです。)され、日本民謡でいう「こぶし」様の複雑で少し曖昧な装飾音を散りばめられ、単純な旋律ではなく、とても五線譜に起こせない複雑な曲奏であると感じました。

その上に(本当は旋律弦の下にあるのですが)13本の共鳴弦があり、弦を鳴らすたびに文字通り共鳴することにより、常時うなりのような音が発せられ、摩訶不思議な世界が生まれています。

曲の構成は2つの部に分かれているようです。第1部は序奏部。西洋音楽という主題の提示部であろうと想像します。シターの独奏でテーマが静かに始まり、次第に高揚してくると打楽器であるタブラが入り、そこから第2部の展開部(変奏部)となるようです。展開部はタブラとの掛け合いで、テーマを即興的に変奏され、それを何度も何度も繰り返して、次の変奏、次の変奏とどんどん変化しながら、気分を高めていきます。

この繰り返しは津軽三味線の奏法にも採り入れられているような気がします。繰り返しは気持ちが高揚し、その世界に引き込まれる強

力なインパクトのある奏法と感じました。ますますテンポが速くなり最高潮に達して突然の静寂で終了します。この静寂は、後に強い余韻を残し、ついため息をついてしまうのは私だけではなかったと思います。

演奏の形式は西洋音楽のソナタ形式やモダンジャズとほぼ同一のように思えました。音楽や形式の完成度も素晴らしいものでありましたが、演奏技術もそれ以上に素晴らしいのだと感じました。

今回、インド舞踊のオリッシも同時公演されました。オリッシも私にとって初めての経験でありまして、9つの表情を指先で表現されているとお話で、力強い足踏みと指先にまで神経を注いだ繊細な演技で、インド文化の伝統と懐の深さを感じました。

今では仕事場でも、車の中でもシターの音が途切れることがありません。周りのものから「はまってしまった」と異口同音に言われております。

たった2人でオーケストラにも匹敵するような豊かな音色、不思議なリズム、そして演奏技術に感動いたしました。あのビートルズのジョージ・ハリソンもインド音楽に魅了されたことも頷けます。

インド文化は「0の発見」を含め西洋の文化に多大な影響を与えてきたと聞いております。音楽の世界においても西洋音楽、モダンジャズの源流を垣間見た気がします。

近い将来、改めてシターのコンサートを開催していただきたいと思っております。今回の演奏では、古典と新作オリジナルを併せて数曲演奏していただきましたが、次回はインド音楽の歴史を知る上で是非古典をじっくりと聞かせていただければ幸いです。



<http://www.tcct.zaq.ne.jp/syoubei/> 桜の庄兵衛ギャラリーのホームページです。ぜひご覧ください。

●唐梅のかほりただよふコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野)まで
※お電話は、9:00~12:00の間でお願いいたします。

参加費

¥2,500
※当日、会場受付にてお支払いください。

定員

90名・全席自由席
※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにご予約ください。

会場

桜の庄兵衛ギャラリー
豊中市中桜塚2-30-35
TEL 06-6852-3270
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

1 申込方法

官製ハガキに下記の必要事項をご記入になり、お席をご予約ください。
※グループでお申込みの場合、代表の方がお申込みください。

宛先	ご記入事項
561-0881	●ご氏名(ふりがな)
豊中市中桜塚	●ご住所(郵便番号)
2-30-35	●お電話番号
桜の庄兵衛 宛	●ご希望の時間帯 昼の部または夕の部
	●ご参加人数(計〇名)
	●グループ全員の ご氏名(ふりがな)

ご予約を受付け次第、ハガキでご返信申し上げます。
※グループでお申込みの場合は、代表の方のみご返信申し上げます。

代表者以外の方は、
当日受付にご氏名を
お告げください。



2 申込方法

ファックスでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付け次第、ハガキにてご返信申し上げます。

ファックス番号 06-6852-3270

3 申込方法

インターネットでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付け次第、e-mailにてご返信申し上げます。

e-mail address syoubei@tcct.zaq.ne.jp